

磐城

行發日三十二月一
(刊休翌日祭曜日)

括書微笑 氣の良い舊年末

意氣で勝たねば

豊く來れ

娘の殊勝さ

梅の音はまだかたい

南の風が吹いたのに

空は青いよとても深そに

柳も帽子を

まだぬかぬ

風はあんなにぬくいのに

籠の小鳥は

啼きくだびれました

梅の音は

支持の集り景押へるにも物件

内郷でも現内閣

戦友相抱いて占領を期すと、其

全國中學校の熱誠の競争

が籠る飛行機快

キヤラメル甜めの結果

が無い、滯納者の腕前がござります、時に右京は飯岡右善と云ふ出醜自

の名を云つて居りました。

勘「飯岡、どうも腕前は美

事なものだ、マア氣永く我

には何とかなるだらう」右

京は飯岡右善と云ふ出醜自

の集ひ：在京青森縣

修文會主催

△〇、三〇A ニュース

青森縣下田作地並満洲出軍人家族慰安

の集ひ：在京青森縣

佐藤愛

△〇、四〇A 振替

青森

△〇、四〇A

